



2025年7月15日

各位

会 社 名 株式会社北の達人コーポレーション
代 表 者 名 代表取締役社長 木下 勝寿
コード番号：2930 東証プライム 札証
問合わせ先 取締役管理部長 三浦 淳一
電 話 番 号 050-2018-6578（部署直通）

配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年7月15日開催の取締役会において、配当方針の変更及び2026年2月期の配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更について

（1）変更の理由

当社は、本日公表いたしました中期経営計画2028（2026年2月期～2028年2月期）のとおり、ミッションである「びっくりするほど良い商品で、世界のQOLを1%上げる」の実現に向けた各種取組を行い、新たな成長軌道を描くとともに持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。そのなかでも、株主に対する利益還元を経営上の重要な課題の一つであると認識しており、将来の事業拡大を見据えた先行投資等に伴う一時的な収益調整局面においても安定的な株主還元を継続し、さらには業績の成長に応じて株主還元を拡大させていく姿勢を明確にするため、配当方針を変更することといたしました。

（2）変更の内容（変更箇所には下線を付しております。）

（変更前）

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要な課題の一つとして認識しており、事業投資やキャッシュ・フローの状況等を総合的に勘案しながら、配当による株主への利益還元に努めることを基本方針としております。配当金につきましては、将来の事業展開や経営環境の変化に対応するための内部留保を確保しながら、連結配当性向30%程度を目標とした継続的かつ安定的な現金配当を基本とし、業績の向上に応じて増配等を行う方針であります。当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としており、これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

（変更後）

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要な課題の一つとして認識しており、事業投資やキャッシュ・フローの状況等を総合的に勘案しながら、配当による株主への利益還元に努めることを基本方針としております。配当金につきましては、将来の事業展開や経営環境の変化に対応するための内部留保を確保しながら、連結配当性向30%程度を目標とした継続的かつ安定的な現金配当を基本とし、業績の向上に応じて増配等を行う方針であります。なお、中期経営計画2028（2026年2月期～2028年2月期）期間中は、1株当たり年間配当金の下限値を3円50銭といたします。当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としており、これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

（3）変更の時期

2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）より適用いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の理由

2025年4月14日に公表いたしました「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」における2026年2月期の配当予想につきましては、中期経営計画並びに当該計画を踏まえた株主還元方針を策定中であったことから、未定としておりましたが、変更後の配当方針を勘案し、1株当たり年間配当金は3円50銭（中間配当金1円70銭・期末配当金1円80銭）といたします。

(2) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025年4月14日)	—	—	—
今回修正予想	1円70銭	1円80銭	3円50銭
前期実績 (2025年2月期)	1円30銭	2円20銭	3円50銭

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当金は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上